

栗原市のお金の使い道

(平成22年度決算概要)



つく
「市民が創る くらしたい栗原」



はじめに

市民のみなさま、こんにちは。市長の佐藤 勇です。

東日本大震災から7カ月を経過し、これまで市民生活の再建と各施設の復旧に向け、その対策に全力で取り組んでまいりました。また、長期化が予想される東京電力福島第一原子力発電所事故への対応につきましても、市民のみなさまの不安を解消するため、放射線量測定結果の公表や市民向け放射能講座等の開催などを行ってまいりました。今後も大震災からの復旧と放射線等事案に係る対策に万全を期してまいりますので、ご協力をお願いいたします。



平成22年度におきましては、大部分の事業は予定どおり事業執行いたしておりますが、東日本大震災の影響により年度内に事業完了できなかった33事業、約5億円を事故繰越しとして、そのほか事業の進捗状況により34事業、約28億円を明許繰越しとして、合わせて67事業、約33億円を平成23年度へ繰り越しております。

さて、「栗原市のお金の出所と使い道」は、予算の仕組みや事業内容を「わかりやすく」、「見やすく」を心がけて作成し、その年度の主な事業をご理解いただくことで、市民の皆さまとともに、地域の活力を盛り上げて行きたいと考え、平成18年度から発行してまいりました。

その後、事業の内容は理解しているが、どのような使われ方をしたのか結果が分からないという要望があり、今回「栗原市のお金の使い道（決算概要）」として発行することとしたものであります。

お気づきの点があればご意見などをお寄せいただきながら、「市民が創る くらしたい栗原」をともに築き上げてまいりたいと考えておりますので、市民のみなさまの更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成23年11月

栗原市長

佐藤 勇

～ 目 次 ～

主要事業の決算額一覧	1
1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」	
(1) 豊かな自然環境と共生した生活を実現します	4
(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します	5
(3) 安全・安心なまちづくりを推進します	7
2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」	
(1) 次代を担うたくましい子どもを育成します	8
(2) 人生を楽しむための実践機会を充実します	9
(3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります	9
3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」	
(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います	10
(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります	11
(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します	13
4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」	
(1) 栗原ブランドの形成と高付加価値の地場産品づくりに取り組みます	14
(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します	15
(3) 地域資源を活かした交流人口の増加を図り栗原市を発信します	16
5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」	
(1) 小さなコミュニティを大切にされた地域づくりを推進します	17
(2) 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します	17
(3) 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います	17
6 「平成20年岩手・宮城内陸地震」からの復興を目指します	18
7 特別会計・事業会計決算の主な事業	19

資料の見方

(1)事業別決算一覧(1～3ページ)

区 分	事 業 名	当初予算額	決算額 (H23年度への繰越額)	ページ
(1)豊かな自然環境と共生した 生活を実現します	庁舎太陽光発電システム導入事業	3,600 万円	100 万円 (3,428 万円)	

平成22年度内に使った金額(決算額)です。

平成22年度予算のうち、年度内に完了できなかった事業費を平成23年度に繰越して、事業を行う金額です。

(2)施策別事業概要(4～20ページ)

新 庁舎太陽光発電システム導入事業	100万円
【H23年度への繰越額】	3,428万円
(担当：管財課財産係) 地球温暖化対策の一環として、行政庁舎に太陽光パネルを設置するとともに、照明の一部をLED照明に交換することにより、施設の省エネを図りました。	

一般会計・事業別決算一覧

1「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

区 分	事 業 名	当初予算額	決算額 (H23年度への繰越額)	ページ
(1)豊かな自然環境と共生した 生活を実現します	一般住宅省エネ化推進事業	400 万円	375 万円	4
	庁舎太陽光発電システム導入事業	3,600 万円	100 万円 (3,428 万円)	
	し尿処理事業	3億5,219 万円	3億3,416 万円	
	ごみ処理事業	4億8,571 万円	4億6,016 万円	
	農地・水・環境保全向上対策事業	8,031 万円	7,651 万円	
(2)多様な暮らしを満喫できる 生活環境を形成します	都市計画街路事業	2億2,748 万円	1億1,749 万円 (5,099 万円)	5
	公営住宅整備事業	1億2,858 万円	1億1,925 万円 (296 万円)	
	道路橋りょう維持事業	4億5,260 万円	4億6,708 万円 (4億9,539 万円)	
	道路整備事業	10億7,906 万円	3億2,502 万円 (3億8,921 万円)	6
	辺地共聴施設整備事業	1億7,271 万円	481 万円	
	新地域交通システム整備事業	2億4,553 万円	2億646 万円	
(3)安全・安心なまちづくりを推進します	9. 1 総合防災訓練	1,000 万円	972 万円	7
	運転免許取得者教育助成事業	30 万円	17 万円	
	消防施設維持管理事業	2,200 万円	1,236 万円	
	橋りょう耐震補強対策事業	1億5,400 万円	7,642 万円 (3,735 万円)	
	木造住宅耐震改修等事業	1,508 万円	836 万円	

2「豊かな感性と生きる力を育むまち」

区 分	事業名	当初予算額	決算額 (H23年度への繰越額)	ページ
(1) 次代を担うたくましい子どもを育成します	築館中学校体育館改築事業	6,656 万円	4,190 万円 (4億5,144 万円)	8
	若柳中学校校舎改築事業	3億4,744 万円	2億7 万円	
	鶯沢小学校プール改修事業	1億390 万円	8,932 万円	
	豊かな心をはぐくむ教育環境創造事業ほか3事業	689 万円	578 万円	
	青空大使派遣事業	812 万円	639 万円	
	語学指導を行う外国青年招致事業	6,969 万円	6,725 万円	
	学力向上のための緊急プロジェクト	337 万円	385 万円	
(2) 人生を楽しむための実践機会を充実します	「心にきざむ 文化講演会」開催	240 万円	145 万円	9
	築館陸上競技場第三種公認検定更新事業	2,885 万円	1,230 万円 (1,731 万円)	
	親と子の自然ふれあい事業	11 万円	3 万円	
	「目指せ！日本一」スポーツ振興事業	200 万円	311 万円	
(3) 地域に根ざした文化の振興と 歴史の継承を図ります	文化財保護事業	7,830 万円	7,821 万円	

3「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

区 分	事業名	当初予算額	決算額 (H23年度への繰越額)	ページ	
(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います	地域子育て支援センター運営事業	3,250 万円	1,338 万円	10	
	すこやか子育て支援金支給事業	2,500 万円	1,949 万円		
	児童虐待防止対策事業	37 万円	22 万円		
	(2) 誰もが健康で安心して 暮らせる環境をつくります	放課後児童クラブ等運営事業	6,935 万円	6,515 万円	11
		一時保育事業	973 万円	949 万円	
		子ども入院費助成事業	555 万円	159 万円	
		特定不妊治療費助成事業	50 万円	74 万円	
(2) 誰もが健康で安心して 暮らせる環境をつくります	母子保健健康診査事業	7,106 万円	5,157 万円	12	
	いのちを守る緊急総合対策事業	1億225 万円	1億187 万円		
	健康診査事業	2億295 万円	1億6,700 万円		
	新型インフルエンザ対策事業	108 万円	31 万円		
	救急医療体制確保事業	2,000 万円	2,242 万円		
	訪問入浴サービス事業	216 万円	186 万円		
	相談支援事業	1,679 万円	1,670 万円		
	自動車運転免許取得・改造助成	70 万円	20 万円		
	日中一時支援事業	246 万円	329 万円		
	予防接種事業	1億303 万円	1億4,153 万円		
	日常生活用具給付等事業	1,471 万円	1,469 万円		
(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します	移動支援事業	452 万円	285 万円	13	
	コミュニケーション支援事業	78 万円	64 万円		
	高齢者福祉タクシー利用助成事業	216 万円	347 万円		
	寝具乾燥サービス事業	33 万円	17 万円		
	緊急通報体制等整備事業	326 万円	269 万円		
	生きがい活動支援通所事業	2,966 万円	2,843 万円		
	「食」の自立支援事業	499 万円	740 万円		
	訪問理美容サービス事業	11 万円	2 万円		
(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します	軽度生活援助事業	1,080 万円	869 万円	13	
	日常生活用具給付事業	18 万円	27 万円		
	高齢者日常生活支援業務利用助成事業	100 万円	120 万円		

4「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

区 分	事業名	当初予算額	決算額 (H23年度への繰越額)	ページ
(1)栗原ブランドの形成と高付加価値の 地場産品づくりに取り組みます	栗原ブランドの確立支援事業	489 万円	263 万円	14
	ほ場整備事業	2億805 万円	1億6,413 万円	
	栗原の森林づくり支援事業	1,200 万円	1,199 万円	
	直売所・加工施設建設事業	6,850 万円	1,984 万円 (5,247 万円)	
	園芸特産重点強化整備事業	312 万円	308 万円	
	優良子牛保留等対策事業	703 万円	633 万円	
(2)産業育成と企業誘致による 産業拠点を形成します	企業立地促進奨励金	3,191 万円	985 万円	15
	雇用促進奨励金	610 万円	780 万円	
	雇用拡大奨励金	1,300 万円	1,300 万円	
	中小企業振興資金	3億4,000 万円	3億2,464 万円	
	慶應義塾大学などの研究機関との連携協力	214 万円	130 万円	
	離職者技術取得支援給付金	600 万円	53 万円	
	ものづくり企業活性化事業	550 万円	129 万円 (185 万円)	
(3)地域資源を活かした交流人口の 増加を図り栗原市を発信します	くりはら田園観光都市創造事業	493 万円	366 万円	16
	くりはら田園鉄道跡地利用計画策定事業	600 万円	301 万円	
	第3回栗原市観光写真コンクール	24 万円	19 万円	

5「市民がまちづくりを楽しめるまち」

区 分	事業名	当初予算額	決算額 (H23年度への繰越額)	ページ
(1)小さなコミュニティを大切に 地域づくりを推進します	地域集会施設新築改築修繕事業	9,714 万円	8,308 万円	17
	住民自治活動助成事業	7,447 万円	7,097 万円	
(2)市民が自ら行うまちづくり活動を支援します	合併5周年記念式典	262 万円	209 万円	
	男女共同参画推進事業	44 万円	37 万円	
(3)市民満足度を重視した効率的な 行政サービスを行います	郵便局窓口交付サービス事業	82 万円	99 万円	

6「平成20年岩手・宮城内陸地震」からの復興を目指します

区 分	事業名	当初予算額	決算額 (H23年度への繰越額)	ページ
水と緑、山の再生へ	栗駒山交通渋滞対策事業	300 万円	310 万円	18
	復興・観光振興イベント開催事業	823 万円	805 万円	
	集落支援対策事業	350 万円	314 万円	
	道路・河川・橋りょう災害復旧事業	7億9,805 万円	3億8,424 万円 (3億21 万円)	
	ブロック塀等除却・生垣等設置助成事業	500 万円	25 万円	

特別会計・事業別決算一覧

区 分	事業名	当初予算額	決算額 (H23年度への繰越額)	ページ
国民健康保険特別会計	特定健康診査・特定保健指導事業	6,371 万円	4,565 万円	19
介護保険特別会計	介護予防・特定高齢者施策予防事業	1,934 万円	1,575 万円	
	脳卒中・認知症・寝たきり予防プロジェクト	776 万円	721 万円	
後期高齢者医療特別会計	後期高齢者医療制度	7億4,356 万円	7億5,280 万円	
水道事業会計・簡易水道事業特別会計	水道施設整備事業	1億6,489 万円	6,403 万円 (4,948 万円)	
	石綿セメント管更新事業	6,450 万円	6,328 万円	
下水道事業特別会計	公共下水道事業	6億8,260 万円	4億9,093 万円 (1億2,240 万円)	
農業集落排水事業特別会計	農業集落排水事業	189 万円	24 万円 (164 万円)	
合併処理浄化槽事業特別会計	戸別浄化槽設置事業（市設置型）	2億2,710 万円	1億7,917 万円 (2,279 万円)	20
	浄化槽整備事業（個人設置型）	736 万円	633 万円	
病院事業会計	看護学生修学資金貸付事業	300 万円	300 万円	
	医学生修学一時金貸付事業	2,280 万円	1,520 万円	
	栗原中央病院院内保育所運営事業	6,110 万円	5,350 万円	
	栗原中央病院リハビリテーション訓練室整備事業	5,000 万円	246 万円 (4,754 万円)	
	栗原市立病院医療機器等整備事業	4,130 万円	3,361 万円	

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(1) 豊かな自然環境と共生した生活を実現します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

一般住宅省エネ化推進事業 375万円

(担当：環境課環境政策係)

一般家庭において太陽光発電設備と省エネ設備を設置する際に補助金を交付することにより、地球温暖化の抑制を推進しました。



し尿処理事業 3億3,416万円

(担当：環境課生活環境係)

し尿及び浄化槽汚泥の収集運搬とし尿処理施設の管理運営を行いました。

平成22年度の収集処理状況は、前年度より3.8%減少し、40,139,802 リットルとなりました。

ごみ処理事業 4億6,016万円

(担当：環境課生活環境係)

家庭ごみの収集運搬とごみ処理施設の管理運営を行いました。

平成22年度のごみの排出量は、前年度より1.7% (283トン) 減少しました。

庁舎太陽光発電システム導入事業

100万円

【H23年度への繰越額 3,428万円】

(担当：管財課財産係)

地球温暖化対策の一環として、行政庁舎に太陽光パネルを設置するとともに、照明の一部をLED照明に交換することにより、施設の省エネを図りました。



廃家電製品回収作業の様子

農地・^{みず}水・環境保全向上対策事業

7,651万円

(担当：農業政策推進室)

田や畑、農業用水などの資源や農村環境の良好な保全とその質の向上を図るため、地域ぐるみで参加する共同活動や環境にやさしい営農活動の取組みに対して支援を行いました。



生息状況を把握するための生き物調査



地区総出での環境美化 (花の植栽)

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

都市計画街路事業 1億1,749万円

【H23年度への繰越額 5,099万円】

(担当：都市計画課都市整備係)

安全で快適な交通体系を確保し、利用しやすい街路づくりを行いました。

(築館) 一迫南線、源光町田線



整備中の都市計画道路一迫南線

公営住宅整備事業

1億1,925万円

【H23年度への繰越額 296万円】

(担当：建築住宅課建築係)

公営住宅の老朽化による建替えや、改修事業を通して、安心して暮らせる居住環境・生活環境の整備を目的に、公営住宅(2棟12戸)の整備と老朽化した住宅(35戸)の解体を行いました。

建設 (築館) 新田東住宅

解体 (金成) 有壁住宅、(鶯沢) 森下日和住宅
(高清水) 佐野丁住宅



新田東住宅 (築館)

道路橋りょう維持事業

4億6,708万円

【H23年度への繰越額 4億9,539万円】

(担当：建設課維持係)

市道や側溝の小規模な補修をして、安心安全な道路環境を整備しました。



補修前



補修後

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

道路整備事業

3億2,502万円

(担当：建設課建設係)

【H23年度への繰越額 3億8,921万円】

○道路新設改良事業

市民の生活を支える基礎となる市道を整備し、安全で快適な道路づくりを実施しました。

《築館》 沢入留場線、栗原中央西線（築館～一迫）、間渡戸線、下中道線、あけぼの通線
《若柳》 新田線（2期）、杉沢地区道路、新町片町8号線、並柳地区排水路、福岡14号線
《栗駒》 広域線、四日町松木田線、高松松倉線、下大鳥内ノ目線 《瀬峰》 天神・樋渡線
《一迫》 清水小栗目・日照線、十日市線、上要害線、清水目嶋峠線 《鶯沢》 辻前遠堀線（2期）
《金成》 片馬合原線、大手線 《花山》 芦ノ口上原線、萩ノ原線



市道広域線古戸橋（栗駒）



市道間渡戸線（築館）

辺地共聴施設整備事業

481万円

(担当：市政情報課情報化推進係)

地上アナログテレビ放送のデジタル化に伴い、従来からの共同受信施設や新たに共同受信施設が必要となる箇所について、新設、改修費用を補助し、難視聴地域の解消を図りました。

《一迫》

小僧共同アンテナ受信組合

葉山共同アンテナ受信組合

鹿込テレビ共同視聴組合

新地域交通システム整備事業

2億646万円

(担当：市民協働課地域振興係)

県内一広い面積である市内の交通の利便性向上を図るため、既存公共交通の運行委託や、多様な形態で運行していた路線を市民バスに移行するなどの運行体系の見直しを行いました。

また、新規3路線を含む、全24路線で運行しました。

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(3) 安全・安心なまちづくりを推進します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

9. 1 総合防災訓練 972万円

(担当：危機管理室防災係)

平成20年岩手・宮城内陸地震の経験を今後の災害対策への教訓として伝えるべく、9月1日の「防災の日」に栗原市を会場として宮城県総合防災訓練を実施しました。



9.1 総合防災訓練の様子

運転免許取得者教育助成事業 17万円

(担当：危機管理室防災係)

市内にお住まいの高齢者の方が、市内の自動車学校において受講する運転免許取得者教育（認定教育）に対して補助を行いました。

消防施設維持管理事業 1,236万円

(担当：消防本部総務課消防団係)

火災時における消防水利の迅速な把握ができるよう、標識の設置や破損している標識の修繕を実施しました。

橋りょう耐震補強対策事業 7,642万円

【H23年度への繰越額 3,735万円】

(担当：建設課建設係)

橋の耐用年数を延ばし今後発生する修繕経費の削減を図るため、市が管理する橋を点検し、補修優先度の高い橋から補修工事を行いました。

築館：八沢要害線要害跨線橋補修工事
一迫：農耕地線西農耕地橋耐震補強工事
市内一円：橋りょう点検22橋



市道八沢要害線
要害跨線橋（築館）

木造住宅耐震改修等事業 836万円

(担当：建築住宅課建築係)

予想される宮城県沖地震等の大規模地震から市民の生命、財産を守るため、木造住宅の耐震改修助成、耐震診断、家具転倒防止器具取付事業を行いました。

- ・木造住宅耐震診断助成事業 40件
- ・木造住宅耐震改修工事助成事業 8件
- ・家具転倒防止器具取付事業 43件

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

(1) 次代を担うたくましい子どもを育成します

新 = 新規事業、**拡** = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

拡 築館中学校体育館改築事業

4,190万円

【H23年度への繰越額 4億5,144万円】

(担当：教育総務課教育施設係)

教育環境を整備するため、体育館建築・解体工事を行いました。

(H22年度～23年度事業のH22年度分)

拡 若柳中学校校舎改築事業

2億7万円

教育環境を整備するため、校舎建設・解体工事を行いました。

(H22年度～24年度事業のH22年度分)

拡 鶯沢小学校プール改修事業

8,932万円

老朽化していたプールの改修及び配管等の改修工事を行いました。



改修後のプール(鶯沢小学校)

青空大使派遣事業

639万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

市内中学生を対象にオーストラリアでの海外研修を行うことで、国際感覚豊かな人材を育成しました。

参加者実績：19人

語学指導を行う外国青年招致事業

6,725万円

(担当：学校教育課指導係)

外国語指導助手(ALT)を市内全中学校に1人ずつ配置(合計10人)し、中学校等での英語教育推進と地域交流等を推進しました。また、市内小学校における独自の英語活動の導入や、留学生との交流を通じた生きた英語教育を実践しました。



外国語指導助手による授業の様子

豊かな心をはぐくむ教育環境創造事業

ほか3事業

578万円

(担当：学校教育課指導係)

いじめ、不登校問題への対応として、児童生徒、保護者、それぞれ問題を抱える人々への専門相談体制を整備しました。

- ① 教育相談員の配置
- ② 適応事業教室(けやき教室)の開設
- ③ 問題を抱える子ども等の自立支援事業
- ④ スクールソーシャルワーカー事業

学力向上のための緊急プロジェクト

385万円

(担当：学校教育課指導係)

宮城教育大学と連携し、学生の協力による「もっと学びたい子どものための『学府くりはら塾』」の開講や、教師を対象とした学力向上講演会を行うなど、総合的な学力向上施策を行いました。

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

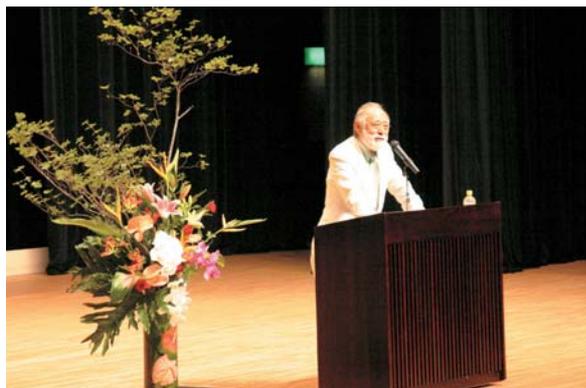
(2) 人生を楽しむための実践機会を充実します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

「心にきざむ 文化講演会」開催 145万円

(担当：社会教育課文化振興係)

著名人を招き、身近で魅力のある内容をテーマとした、文化講演会を開催しました。



～ 私の役者人生 ～
津川雅彦氏
(平成22年度実施の様子)

築館陸上競技場第三種公認検定更新事業 1,230万円

【H23年度への繰越額：1,731万円】

(担当：社会教育課スポーツ振興係)

走路の張替え改修や競技用具を購入するなど、施設整備を図りました。

親と子の自然ふれあい事業 3万円 (担当：社会教育課スポーツ振興係)

市内ダム湖でのカヌー体験や親子共同による工作活動を通じて栗原の自然を体験し家族のふれあいや結びつきを支援しました。

「目指せ！日本一」スポーツ振興事業 311万円

各種スポーツの全国大会などへ出場した32件の選手(団体)に参加費助成を行いました。

「やったね！日本一」スポーツ振興事業 37万円

全国大会で日本一など優秀な成績を残した各種スポーツ出場選手(団体)に活動費を助成しました。(担当：社会教育課スポーツ振興係)



平成22年度全日本卓球選手権
(ホープス・カブ・バンビの部) 大会参加者

(3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります

文化財保護事業 7,821万円 (担当：文化財保護課文化財係・埋蔵文化財係)

史跡山王圀遺跡の整備、史跡伊治城跡公有化(土地買上)のほか、市内文化財の調査保護、地域の伝統芸能活動の支援を行いました。



山王圀遺跡(一迫)

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

 新規事業、 拡充事業 (事業名の頭に標記)

地域子育て支援センター運営事業

1,338万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

育児不安を抱える母親の相談や子育てサークル等の育成支援を行うセンターを、市内10地区で開所し、地域全体で子育てしやすい環境づくりを行いました。



親子いっしょにおやつ作りの様子

すこやか子育て支援金支給事業

1,949万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

子育てを応援するため、出生時などに支援金を支給しました。



健やかな成長を願って・・・くりはらっ子大会

児童虐待防止対策事業

22万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

児童虐待をなくすため、子どもの虐待予防講演会や児童虐待予防の研修会などを行いました。



田中万里子先生の子どもの虐待予防講演

放課後児童クラブ等運営事業

6,515万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

共働き家庭などの、おおむね10歳未満の児童を預かり、放課後に適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図るため、市内全地区で放課後児童クラブ等を実施しました。



放課後児童クラブの様子

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に表記)

一時保育事業

949万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

保護者のパート就労や病氣、冠婚葬祭、育児等に伴う心理的・肉体的負担の解消等のため、お子さんを一時的（緊急的）に保育所に預かりました。



楽しいおやつ時間です

子ども入院費助成事業

159万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

市内の小学生・中学生の入院医療費の一部負担金を助成し、子育て家庭における経済的負担の軽減が図られました。

特定不妊治療費助成事業

74万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

特定不妊治療を受ける方へその費用の一部を助成しました。

母子保健健康診査事業

5,157万円

(担当：健康推進課保健指導係)

妊婦一般健康診査への費用助成、乳幼児健康診査や育児相談などの各種健康診査を行いました。

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

いのちを守る緊急総合対策事業 1億187万円

(担当：社会福祉課・健康推進課)

自殺防止を目的に、街頭キャンペーンや講演会などの普及啓発、多重債務専用の電話相談や弁護士による相談、また、「栗原市のぞみローン」の制度で債務整理を支援しました。



街頭キャンペーンで啓発の様子

健康診査事業 1億6,700万円

(担当：健康推進課健康推進係)

生活習慣病やがん予防・早期発見のための特定健康診査、各種がん検診を実施しました。

また、がんに対する知識普及などを目的に各地区において「がん予防講演会」を開催しました。

新型インフルエンザ対策事業

31万円

(担当：健康推進課保健指導係)

感染を予防するため、広報誌やホームページによる普及啓発に取組み、手洗いなどの励行の確立につながりました。

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

 新規事業、 拡充事業 (事業名の頭に標記)

救急医療体制確保事業 2,242万円

(担当：健康推進課健康推進係)

市民の急患に対する救急医療体制として、市内3病院での救急患者の受け入れのほか、大崎市民病院救命救急センターでの診療を確保しました。

訪問入浴サービス事業 186万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

自宅で入浴することが困難な身体障害者が入浴できるよう移動入浴車の派遣などの入浴サービスを行いました。

相談支援事業 1,670万円

障害者や障害者を介護する家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供や権利擁護のために必要な援助を行い、家族介護の精神的な軽減を図りました。

自動車運転免許取得・改造助成 20万円

障害者が自動車運転免許を取得したり、自動車を改造する費用の一部を助成しました。

(担当：社会福祉課障害福祉係)

日中一時支援事業 329万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

障害者の日中における活動の場の確保や、障害者の家族の就労支援及び日常的に障害者の介護を行う方の負担を軽減するための支援を行いました。

予防接種事業

1億4,153万円

(担当：健康推進課健康推進係)

予防接種法の規定に基づき、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を防止するために予防接種事業を行いました。

また、新たに、平成22年度からは小児用肺炎球菌・ヒブ・水ぼうそう・おたふくかぜ・子宮頸がん予防ワクチンの5種類の接種費用を助成しました。



がん予防講演会の様子

日常生活用具給付等事業 1,469万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

重度障害者等に対して、特殊寝台や紙おむつなどの日常生活用具の給付や貸与を行いました。

移動支援事業 285万円

屋外での移動が困難な障害者に、外出する際のタクシー移動などの支援を行いました。

コミュニケーション支援事業 64万円

意思疎通を図ることが困難な障害者に、手話通訳者等の派遣や意思疎通の支援を行いました。

(担当：社会福祉課障害福祉係)

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

高齢者福祉タクシー利用助成事業

347万円

(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

通院が困難な低所得の高齢者に対し、通院時のタクシー利用の際、初乗り運賃相当分を月4回まで助成しました。

実利用者数 246人
延利用回数 5,351回

寝具乾燥サービス事業

17万円

(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

自宅でのひとり暮らし高齢者等に対し、布団等の洗濯・乾燥サービスを行いました。

緊急通報体制等整備事業

269万円

(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

自宅でのひとり暮らし高齢者等に対し、家庭用緊急通報システムの貸し付けを行い、緊急事態に対応できる体制を整備しました。

生きがい活動支援通所事業

2,843万円

(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

家に閉じこもりがちな高齢者に対し、市内の福祉施設などで、通所によるミニデイサービスを提供しました。



生きがい活動支援通所事業の様子

「食」の自立支援事業

740万円

自宅でのひとり暮らし高齢者等に対し、宅配による給食サービスを提供しました。

訪問理美容サービス事業

2万円

寝たきり等の高齢者に対して、訪問理美容サービスを提供しました。

軽度生活援助事業

869万円

自宅でのひとり暮らし高齢者等に対し、ホームヘルパーを派遣し、家事援助などの軽易な日常生活上の援助を行いました。

(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

日常生活用具給付事業

27万円

(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

ひとり暮らし高齢者等に対し、電磁調理器等の日常生活用具を給付、または貸与を行いました。

高齢者日常生活支援業務利用助成事業

120万円

(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

ひとり暮らし高齢者等に対して、庭の清掃や除雪作業などの日常生活上の簡易な日常生活上の援助を行いました。

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(1) 栗原ブランドの形成と高付加価値の地場産品づくりに取り組みます

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

栗原ブランドの確立支援事業

263万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

飲食店やホテル等を対象に食材現場見学会や各種イベントに参加し、栗原ブランド認定商品の知名度の向上や販路拡大に取り組みました。



東京池袋の宮城県アンテナショップ「宮城ふるさとプラザ」での販売イベントの様子

栗原^{もり}の森林づくり支援事業

1,199万円

(担当：農林振興課林業振興係)

適正な森林整備と栗原産木材の価値を高めるため、間伐作業道整備、搬出経費などの経費の一部を助成しました。

直売所・加工施設建設事業

1,984万円

【H23年度への繰越額 5,247万円】

(担当：農林振興課農政係)

農畜産物の生産・加工・販売までの一体となったアグリビジネス(6次産業)への取り組みにより、地産地消の推進や農業所得の向上、消費者ニーズの情報収集を図るため、若柳地区に直売所と加工施設の建設を進めました。

ほ場整備事業 1億6,413万円

(担当：農村整備課農地整備係)

経営体育成基盤整備事業など12地区でほ場整備を行いました。

芋塚(築館・栗駒)、王沢(一迫)、大里(瀬峰)、尾松第2(栗駒・鶯沢)、川北(若柳・金成)、川北2期(若柳)、杭ヶ浦(若柳・志波姫)、栗原(築館・栗駒)、栗原2期(築館・栗駒)、城下(築館)、上富(瀬峰)、沖富(築館)



県営ほ場整備事業により整備されたほ場(築館城下地区)

園芸特産重点強化整備事業

308万円

(担当：畜産園芸課園芸振興係)

みやぎ園芸特産振興戦略プランの産地改革品目である「ほうれんそう」のパイプハウス(4棟)設置事業に対して、助成を行いました。

優良子牛保留等対策事業

633万円

(担当：畜産園芸課畜産振興係)

良質和牛の産地確立を図るため、市内の畜産農家が生産した優良牛を市内に保留またはみやぎ総合家畜市場から導入した場合に助成を行いました。

交付実績：218頭

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

企業立地促進奨励金 985万円

市内に新設・移設・増設する企業に対して、投資規模に応じ固定資産税相当額を助成しました。

雇用促進奨励金 780万円

市内在住者を3人以上新たに常時雇用した市内企業に対して、その雇用者数に応じ1人当たり10万円を助成しました。

雇用拡大奨励金 1,300万円

市内在住の高等学校新規卒業者を新たに常時雇用し一定の要件を満たした市内企業に対して、雇用数に応じ助成しました。

(担当：産業戦略課戦略推進係・商工振興係)



市内企業への就職をお手伝いしました。
就職希望高校生と市内企業の出会いの場
「くりはらジョブ・フェア2010、秋」の様子

中小企業振興資金 3億2,464万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

市内で操業する中小企業者に対して、資金融資のあっせんや、保証料を助成しました。

離職者技術取得支援給付金

53万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

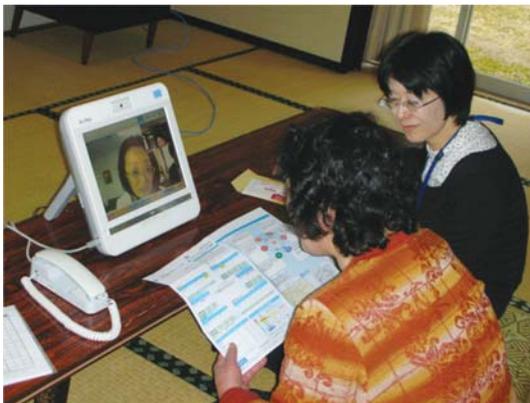
離職者の再就職に向けて、教育訓練・職業訓練を受講開始した方へ、受講経費の一部を助成しました。

慶應義塾大学などの研究機関との連携協力

130万円

(担当：企画課企画調整係)

慶應義塾大学や東北大学などと連携協力し、緊急情報通信システムの導入、遠隔による健康相談システムの構築など、市の将来の地域活性化に資する共同研究を行いました。



遠隔健康相談の様子

ものづくり企業活性化事業 129万円

【H23年度への繰越額 185万円】

(担当：産業戦略課企業支援係)

栗原市企業連絡協議会を通じて、市内企業の実態把握や情報等のPR、産業人材育成などの事業に対する活動支援の一環として補助金を交付しました。



東京ビッグサイトで開催された「次世代自動車産業展」での企業PR、商談の様子

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(3) 地域資源を活かした交流人口の増加を図り栗原市を発信します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

くりはら田園観光都市創造事業

366万円

(担当：田園観光課観光企画係)

第6次産業としての新しい観光産業づくりを目指し、地域資源を活用した「くりはら田園観光都市」の創造に取り組みました。

また、市内全域の地域資源の発掘・調査、市民や市外の方を対象にくりはら輝かせ隊交流会、観光まちづくり研究会、くりはら観光塾などの事業を行いました。



観光まちづくり研究会は、平成21年度から2カ年事業で市内の観光まちづくりを取り巻く環境を調査しながら地域資源を生かし、経済活動につながる観光の体制と仕組みづくりを研究しています。

くりはら田園鉄道跡地利用計画策定事業

301万円

(担当：企画課企画調整係)

くりはら田園鉄道旧若柳駅跡地周辺における郷土史教育や観光集客を見据えた「くりはら田園鉄道公園基本計画」の素案を作成しました。

今後、地域住民、有識者等の意見を聞きながら、地域の憩いの場、市内観光の拠点としての考え方を整理していきます。



6月～11月まで、毎月第2日曜日に開催した「くりでん乗車会」の様子



第3回栗原市観光写真コンクール

19万円

(担当：田園観光課観光振興係)

普段、見過ごしがちな地域資源の再発見と栗原の魅力効果を県内外にPRするために、観光写真コンクールを開催しました。



第3回栗原市観光写真コンクール
最優秀賞「錦秋の栗駒山」

5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」

(1) 小さなコミュニティを大切にした地域づくりを推進します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

地域集会施設新築改築修繕事業 8,308万円

(担当：市民協働課市民協働係)

各地区の集会施設の新築、改築、修繕の経費に対し助成を行い、自治会運営の住民参加を促進しました。



八沢自治会館（鶯沢：平成22年度建設）

住民自治活動助成事業

7,097万円

(担当：市民協働課市民協働係)

「市民が創るくらしたい栗原」を目指し、各地区の自治会やコミュニティ推進協議会の創意工夫による自立的コミュニティ活動を支援するため、一括交付金を交付しました。

また、自主防災組織活動事業の項目を追加しました。



自治会による花植栽作業の様子

(2) 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します

合併5周年記念式典 209万円

(担当：総務課総務係)

栗原文化会館を会場に「栗原市合併5周年記念式典」を開催し、永年にわたり各分野で功績があった方々の活躍をたたえたほか、市内を拠点として活発に活動している様々な団体の華麗なアトラクションが披露されました。

男女共同参画推進事業 37万円

(担当：市民協働課男女共同参画推進係)

リーダーの養成講座や講演会を開催し、男女が互いに尊重し合い、個性と能力を十分発揮しながら、共に地域活動に参画できるよう推進しました。

(3) 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います

郵便局窓口交付サービス事業

99万円

(担当：市民課市民係)

総合支所からの距離が遠い地域で暮らす方々の利便性向上を目的として、栗駒沼倉・栗駒文字・一迫金田・鶯沢秋法の4郵便局で、各種証明書等の交付サービスを実施しました。

6 「平成20年岩手・宮城内陸地震」からの復興を目指します

(1) 水と緑、山の再生へ

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

栗駒山交通渋滞対策事業 310万円

(担当：田園観光課観光振興係)

平成20年岩手・宮城内陸地震から復旧する県道築館栗駒公園線において、秋の紅葉シーズンに栗駒耕英地区からいわかがみ平まで、シャトルバスを運行し渋滞対策を講じました。

復興・観光振興イベント開催事業

805万円

(担当：田園観光課観光振興係)

国道398号、県道築館栗駒公園線の完全復旧に合わせた震災復興と集客力回復に向けて、栗原市観光物産協会や各地区の物産協会と連携し各種イベント等を開催しました。

集落支援対策事業

314万円

(担当：市民協働課市民協働係)

高齢化率が高い花山地区に集落支援員を配置し、集落の巡回を行いながら現状や問題点の把握、さらには集落の将来あるべき姿などについて、「住民と住民」「住民と行政」との話し合いを行い、地域の実情に応じた集落の維持や集落対策を行ないました。

道路・河川・橋りょう災害復旧事業

3億8,424万円

【H23年度への繰越額 3億21万円】

(担当：建設課維持係)

災害にあった道路や河川、橋りょうの復旧を行いました。

- ・市道馬場駒の湯線
- ・市道荒砥沢線
- ・冷沢橋及び柳沢橋



開通した柳沢橋(栗駒)

ブロック塀等除却・生垣等設置助成事業

25万円

(担当：建築住宅課建築係)

災害発生に備え、倒壊のおそれがあるブロック塀から命を守るとともに、緊急車両などの通行を確保するため、除去工事の費用及び除去後の生垣の設置費用を助成しました。



対策前



対策後

7 特別会計・事業会計決算の主な事業

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

特定健康診査・特定保健指導事業
(国民健康保険特別会計) **4,565万円**
(担当：健康推進課医療給付係)

基本健康診査とともに、メタボリックシンドロームやその予備軍を発見し、生活習慣を改善させる保健指導などを実施しました。

介護予防・特定高齢者施策予防事業
(介護保険特別会計) **1,575万円**
(担当：介護福祉課認定調査係)

基本健康診査と併せて「介護予防健診」を行い、食べる・飲み込むなどの口の働きを良くするためのトレーニングや運動機能の向上を図るため、講習会等を開催しました。

また、元気な高齢者が、より健やかに自立した生活を送れるよう運動の普及と認知症に関する相談、研修会を開催しました。

脳卒中・認知症・寝たきり予防プロジェクト
(介護保険特別会計) **721万円**
(担当：介護福祉課認定調査係)

東北大学医学系研究科の指導により、高齢者の方を対象にアンケート調査やMRI検査(X線を使わずに、磁場と電波を使って体の中を見る画像診断。)を実施し、認知症の「早期発見・予防・治療・介護」のための事業を実施しました。



脳いきいき教室の様子

後期高齢者医療制度
(後期高齢者医療特別会計) **7億5,280万円**
(担当：健康推進課医療給付係)

75歳以上の高齢者への安定的な医療の提供を目的に、保険料の徴収や、医療の適正化などに取り組みました。

水道施設整備事業 **6,403万円**
(水道事業会計、簡易水道事業特別会計)
【H23年度への繰越額 4,948万円】
(担当：水道課施設係)

水道水の安定供給や災害時の備えを目的として、古くなった水道本管やその他の水道施設を交換・修理する工事を行いました。

石綿セメント管更新事業 **6,328万円**
(水道事業会計、簡易水道事業特別会計)
(担当：水道課施設係)

安全な水道水を安定して供給することを目的として、石綿セメント管を、丈夫な材質の新しい管へ交換する工事を行いました。

公共下水道事業(下水道事業特別会計)
4億9,093万円
【H23年度への繰越額 1億2,240万円】
(担当：下水道課施設整備係)

湖沼や水路などの自然環境を守り、生活環境の改善を目的に、汚水処理管路施設工事等の事業を行いました。(管路工事4,001m)

農業集落排水事業
(農業集落排水事業特別会計) **24万円**
【H23年度への繰越額 164万円】
(担当：下水道課施設整備係)

農業用水や湖沼・水路などの水質保全と、生活環境改善を目的に、汚水処理事業を行っており、金成有壁地区で新たな公共ます設置工事を行いました。

7 特別会計・事業会計決算の主な事業

■ 新規事業、■ 拡充事業 （事業名の頭に標記）

■ **看護学生修学資金貸付事業**
 （病院事業会計） **300万円**

（担当：医療管理課総務係）
 栗原市立病院及び診療所の看護師確保を図るため、看護師養成施設に在学する学生で、将来、栗原市立病院及び診療所に看護師として勤務しようとする学生に対し、修学資金を貸し付けました。

※平成22年度貸付実績：5人

■ **医学生修学一時金貸付事業**
 （病院事業会計） **1,520万円**

（担当：医療管理課総務係）
 栗原市立病院及び診療所への医師の招へいを図るため、将来、栗原市立病院及び診療所に医師として勤務しようとする医学生に対し、修学一時金を貸し付けました。

なお、平成22年度から貸付け対象者の県内居住要件を削除しました。

※貸付実績 平成17年度～平成22年度：12人

■ **栗原中央病院 院内保育所運営事業**
 （病院事業会計） **5,350万円**

（担当：医療管理課経営管理係）
 医師の招へい及び看護師の確保を図るために設置した院内保育所について、効率的かつ安全で充実した保育所の運営（休日預かりを含む。）を行いました。

■ **栗原市立病院 医療機器等整備事業**
 （病院事業会計） **3,361万円**

（担当：医療管理課経営管理係）
 栗原地域の産科医療（妊婦検診外来）の充実、及び救急医療の充実を図るために医療機器等の整備を行いました。

また、在宅医療の充実を図るために公用自動車の更新を行いました。

■ **戸別浄化槽設置事業（市設置型）**
 （合併処理浄化槽事業特別会計） **1億7,917万円**

【H23 繰越額：2,279万円】

（担当：下水道課施設整備係）

湖沼や水路などの水質保全を目的に、公共下水道事業の計画がない区域を対象に、申請に基づく市設置浄化槽を168基設置しました。

■ **浄化槽整備事業（個人設置型）**
 （合併処理浄化槽事業特別会計） **633万円**
 （担当：下水道課総務管理係）

湖沼や水路などの水質保全を目的に、公共下水道事業が計画されている区域内で、下水道が当分の間整備されない区域を対象に、浄化槽設置者に対し、設置に要する費用の一部を助成しました。（18件）

■ **栗原中央病院リハビリテーション訓練室整備事業（病院事業会計）** **246万円**

【H23 年度への繰越額 4,754万円】

（担当：医療管理課経営管理係）

栗原地域のリハビリテーション施設の充実を図るため、栗原中央病院のリハビリテーション訓練室の増築に着手し、平成23年度に完成しました。



増築したリハビリテーション訓練室

● 「栗原市のお金の使い道」(平成22年度決算概要) ●

発行 宮城県栗原市 編集 栗原市総務部財政課 財政係
〒987-2293 宮城県栗原市築館薬師一丁目7番1号
TEL 0228-22-1115
FAX 0228-22-0312
E-mail zaisei@kuriharacity.jp

この決算概要に関してお気づきの点がありましたら、気軽に財政課財政係までお寄せください。